

1. 可燃ごみの目標達成率

(1人1日当たり排出量)

	前年度実績 R6 年度	実績 R7 年度	目標値 R22 年度
可燃ごみ	379.3 g	379.3 g	342.2 g

- ・有料指定ごみ袋制導入後、可燃ごみの1人1日当たり排出量は減少傾向にあったが、令和7年度は前年度と同じ379.3gとなったことから、有料指定ごみ袋制による減少傾向が止まったものと見られる。
- ・有料指定ごみ袋制を継続することで、排出量は同水準を保つと考えられるが、令和22年度目標値342.2gまで△37.1gの減量（△10%減）が必要なことから、更なる減量施策が求められる。

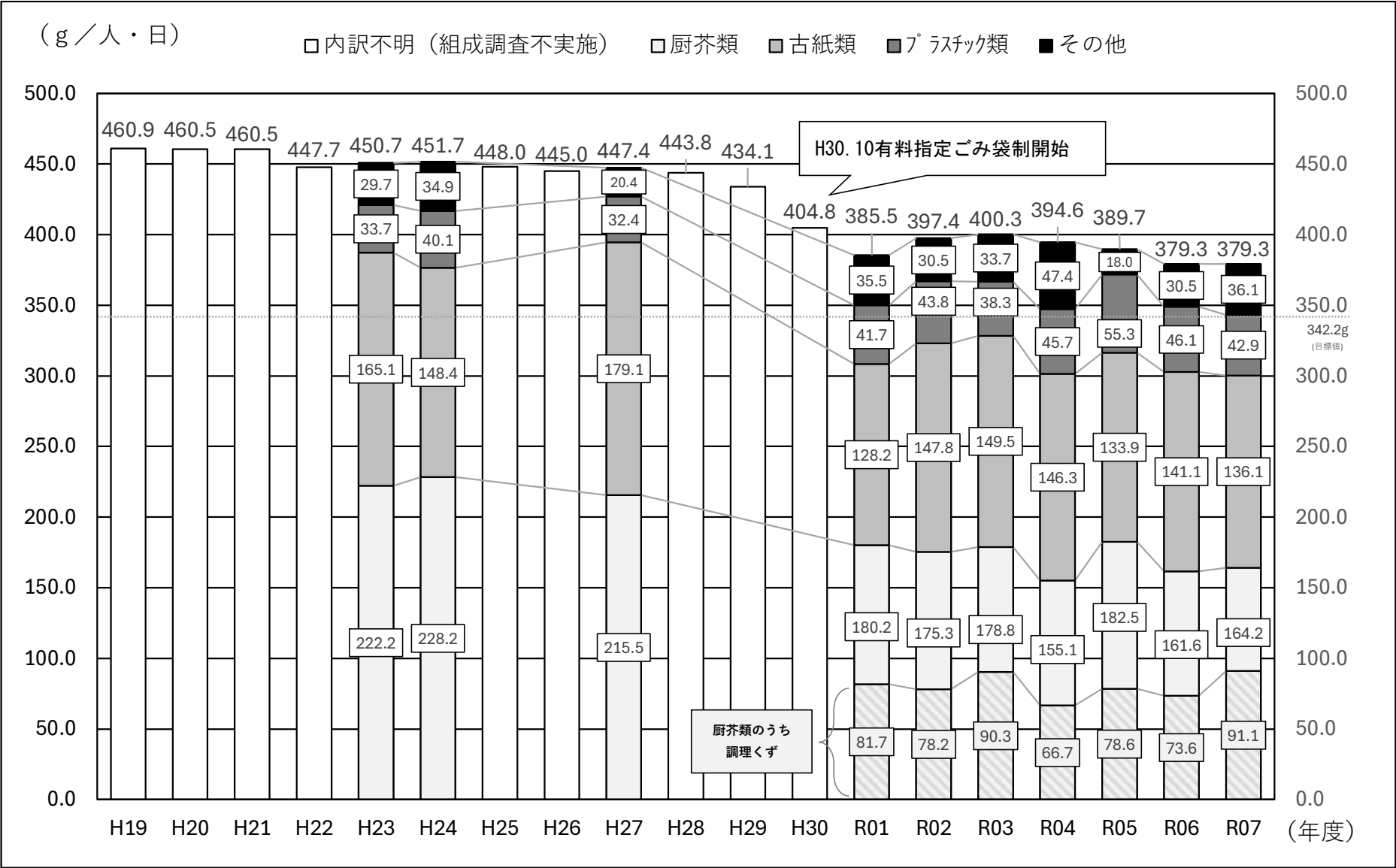
2. 重点項目（可燃ごみに含まれる資源化可能物）の目標達成率

(1人1日当たり排出量)

	前年度実績 R6 年度	実績 R7 年度	目標値 R22 年度
食品ロス	56.2 g	45.4 g	30.0 g
内訳			
食べ残し	29.0 g	20.1 g	
手つかず食品	27.2 g	25.3 g	
調理くず	73.6 g	91.1 g	66.8 g
古紙	45.5 g	41.1 g	25.6 g
主な内訳			
紙箱	10.8 g	11.5 g	
雑がみ	8.0 g	8.7 g	
本・雑誌	6.7 g	5.1 g	
段ボール	4.9 g	1.0 g	
プラスチック類	30.4 g	28.9 g	29.3 g
主な内訳			
プラ袋・フィルム・ラップ等	16.7 g	17.0 g	
容器包装類（チューブ、白色トレイ他）	6.7 g	5.9 g	

- ・1人1日当たりの食品ロス排出量が前年度から△10.8g減少（△19%減）となったが、調理くず排出量は前年度から17.5g増加（24%増）となった。
- ・令和7年度は住民団体等が実施する古紙回収事業に対する補助金額を5円/kgから7円/kgに上げた効果などから古紙排出量が△4.4g減少（△10%減）となったが、目標値25.6gまでさらに△15.5gの減量（△38%減）が必要。

表 家庭系可燃ごみ排出原単位の推移



(参考１) 可燃ごみ以外の目標達成率

(1人1日当たり排出量)

	前年度実績 R6 年度	実績 R7 年度	目標値 R22 年度
ビニール・プラスチック容器包装	31.9 g	31.6 g	31.0 g
燃やさないごみ	34.2 g	32.5 g	32.0 g
ペットボトル	10.3 g	10.3 g	9.5 g
粗大ごみ	28.2 g	26.5 g	25.7 g

(参考２) 事業系ごみの目標達成率

(年間排出量)

	前年度実績 R6 年度	実績 R7 年度	目標値 R22 年度
事業系ごみ	3,700 t	3,581 t	3,283 t